

2021年9月期 第1四半期決算 WEB 会議 Q&A (2021年2月1日開催)

シミックホールディングス株式会社

Q. Q1実績の計画比はどうか。

A. 概ね計画どおりに進捗している。

Q. 製薬会社の研究開発予算の出方はどうか。

A. 現段階では、比較的順調に案件が来ていると思う。

Q. ヘルスケア事業の受注が増えている理由は何か。

A. COVID-19の影響で停滞していた治験の再開等もあり、SMO業務が順調に受注を獲得した。

Q. 2020年4-5月頃の医療機関への訪問規制は少なくなってきたか。CROビジネスの効率化につながるような、ポストコロナに向けた新たな取り組みはあるか。

A. 訪問規制は引き続きあるが、リモート環境での治験の推進も定着してきている。harmoの治験活用やバーチャル治験の導入など、製薬会社へ提案し、具体的な協議を行っている。

Q. バーチャル治験を行うにあたっての課題は何か。

A. 医療機関側の対応やプロトコルの作成にあたっての課題もあるようだ。一気にバーチャル治験が広がるのではなく、段階を追って進んでいくとみている。

Q. harmoのワクチン接種支援とは具体的にどのようなものか。また、収益への寄与についての考えは。

A. 山梨県とワクチン接種支援に関する包括提携協定を結んだ。川崎市で実施した実証実験でワクチン接種の個人管理が出来る仕組みが出来ているので、これをうまく活用していきたい。

Q. CRO事業よりSMO業務が伸長した背景は何か。

A. SMOはより多くの製薬企業の臨床試験に関与していることもあり、COVID-19の影響で停滞していた案件を多数獲得したため。

Q. CDMO 事業の新規案件獲得や、今後の見通しはどうか。

A. 課題であった足利工場注射剤棟の稼働率向上については、大型案件を獲得したことから、来年度からフルに近い水準になる見通しとなった。また、米国においても新規引き合い案件があることから、受注に繋げ回復を目指していく。

Q. CSO 事業の足元の状況について。

A. MR 派遣業務が大半を占めており、メディカルアフケアーズの規模の拡大には時間を要する。足元では COVID-19 の影響により MR 活動費が抑制されているため、利益にはプラス効果がでている。今期については堅調に進む見通し。

Q. 製薬企業の COVID-19 案件によりプラスの影響が出るまで、半年から 1 年かかるか。

A. その通り。